

## 本時のねらい

実際に調べたことから個人やグループでデジタルマップを作成し、思いやりを感じるところを中心に発表することで、公園内の人・まち・自然を大切にしているところに気づく。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Microsoft Whiteboard を用いてデジタル公園マップをグループで協働編集する。
- ・作成したデジタルマップを操作して、公園の「思いやりポイント」（例：バリアフリー・ユニバーサルデザインや環境美化を意識したもの等）を紹介する。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・SKYMENU Cloud
- ・Microsoft Whiteboard
- ・大型モニタ

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○めあてを確認する。 「公園の思いやりポイントをしようかしよう」 ○授業のねらいを確認する。 Whiteboardをつかった発表のしかたを知る。 「思いやりポイント」の伝え方を知る。 【写真1】	○Whiteboardを大型モニタに映し、発表の方法を伝える。  ○Whiteboard内で注目してほしいところを拡大してから、発表することを伝える。
展開 (30分)	○Whiteboard内のデジタル公園マップをグループで見直し、思いやりポイント等を説明しやすいように修正する。 【写真2】  ○「思いやりポイント」をグループで作成したデジタル公園マップを使って発表する。 【写真3】	○Whiteboard内では「遊具」「自然」「施設」「思いやりポイント」を付せんによって色分けをして整理するという工夫を確認する。 ○Whiteboardの共同編集機能を使い、グループで話し合いながら修正する。 ○発表する部分をピンチアウトして拡大するように伝える。
まとめ (5分)	○デジタル公園マップを作成したり、発表したりした感想や「思いやりポイント」について考えたことを交流する。	○本学習を通してできるようになったことを、アプリケーションの操作技能や、その良さをふまえて、振り返るように指導する。

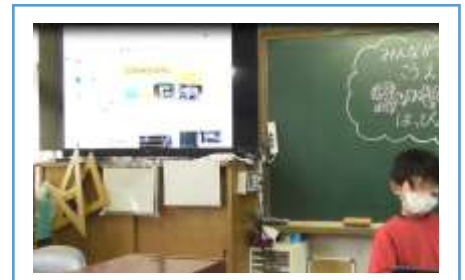
## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】授業のねらいを黒板に示し、発表の仕方を例示する。



【写真2】Whiteboard内のデジタル公園マップをグループで共同編集し見直す。



【写真3】児童がWhiteboardを操作して、思いやりポイントを紹介する。

## 児童生徒の反応や変容

- ・公園探検にタブレット端末を持って行き、目的をもって撮影することが楽しい様子だった。児童が授業のねらいを理解して撮影していることがわかった。
- ・SKYMENU Cloudの発表ノートは操作がしやすいため、タブレット端末を使ってまとめることに自信をつけることができた。
- ・Whiteboardは児童が画面上で操作できる範囲が広いいため、地域の二つの公園のマップを同時に編集することができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・公園探検に行く前に、公園内の人・まち・自然・思いやりを感じるところなど、撮影する観点を伝えておく。
- ・Whiteboardで協働作業をする前に、SKYMENU Cloud発表ノートにデジタル公園マップを個人で作成することで、「文字を入力する」「画像を取り込む」「付せんを貼る」などの情報活用能力の育成を図った。
- ・撮ってきた写真をクラウドを使って共有することで、公園マップ作成の際に十分な量の写真を使うことができた。